

「防災意識 地域で高め 助け合い」 防災標語 優秀作品

あいち防災協働社会推進大会 (あいち防災フェスタ)

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、地域の防災力を高めるため、県民のみなさんや自主防災組織、企業、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の形成を推進することが重要となっています。こうした中、防災意識の向上や災害ボランティア活動への理解の促進を目的とするあいち防災フェスタ (あいち防災協働社会推進大会) を「あいち地震防災の日」である11月の第2日曜日に、防災&ボランティアフォーラムと同時開催しています。オープニングセレモニーでは、防災活動に積極的に取り組み、地域防災力の向上に貢献した団体に対して、防災貢献団体表彰が贈られます。

セレモニー以外にも来場者が参加できる体験型のイベントが多数あり、過去には各ブースにおいて炊飯体験や豚汁の炊出し、災害時に役立つ知識の紹介や津波・大規模風水害対策車を始めとする防災関係車両の展示などが実施されました。あいち防災フェスタへの参加をきっかけに、子どもからお年寄りまで、楽しみながら防災に関心をもっていただくような内容となっています。



防災啓発資料の発行

災害被害を軽減するための県民運動をするための様々な防災情報資料を発行しています。市町村の自主防災組織やあいち防災協働社会推進協議会構成員を通じて県民に配布する他、HPでも掲載し、防災知識の普及啓発を図っています。



あいち防災通信のページ
(http://www.pref.aichi.jp/bousai/bousai_tsuushin/index.html)

- あいち防災通信<各号見出し>
- 第11号：阪神・淡路大震災から20年
～いま、私たちに出来ること～
- 号外：愛知県 東海・東南海・南海地震等被害予測調査結果公表
- 第10号：過去の災害に学び、来たる災害に備える！
- 第9号：南海トラフの巨大地震に備えよう
- 第8号：濃尾地震 120年を経て～想いをはせよう過去の被害～
- 第7号：私たちが襲う津波の脅威～カギはあなたの危機意識～
- 第6号：東海地震・東南海地震・南海地震は同時に発生する？
～その研究の取組を紹介しす～
- 第5号：①東海豪雨から10年
②家具や書庫等の転倒防止
- 第4号：東海地震や東南海地震に備えましょう。
- 第3号：伊勢湾台風から50年
- 第2号：家族で学ぶ東海・東南海地震
- 創刊号：防災協働社会って何？



地震対策に向けて

愛知県では、戦後最大の甚大な被害をもたらした東日本大震災を教訓として、これまでの地震被害予測調査を最新の知見に基づいて見直しました。主に海溝型地震について、ハザードの予測(地震動、液状化、津波等)、被害予測(建物被害、人的被害、ライフライン被害、経済被害額等)を調査しました。その被害想定、南海トラフ地震に対する国の対策の考え方などを踏まえ、地震から県民のみなさんの生命・財産を守る強靱な県土づくりを目指して、平成26年12月に第3次あいち地震対策アクションプランを策定しました。

第3次あいち地震対策アクションプランに基づく本県の地震防災対策が、県内市町村、さらには、各家庭や事業者など様々な主体に周知され、各主体による対策の実施につながることで、「自助」「共助」「公助」による防災協働社会の形成が、効果的に推進されることが期待されます。

<第3次アクションプランの目標及び施策体系>

